



平成30年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社ケイブ
コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 高野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・CFO (氏名) 菊地 徹

TEL 03-6820-8176

四半期報告書提出予定日 平成30年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	1,095	20.3	53		54		35	
29年5月期第2四半期	1,374	27.0	100		106		254	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	12.96	
29年5月期第2四半期	104.65	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
30年5月期第2四半期	1,015		584		57.5
29年5月期	1,048		620		59.1

(参考)自己資本 30年5月期第2四半期 584百万円 29年5月期 619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		0.00	0.00
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

平成30年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期2Q	2,782,600 株	29年5月期	2,782,600 株
期末自己株式数	30年5月期2Q	47,000 株	29年5月期	47,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期2Q	2,735,600 株	29年5月期2Q	2,435,932 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成30年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府の災害復興及びデフレ脱却の方針のもと、経済再生と財政健全化を同時に実現していくための政策を進めており、緩やかな回復基調が続いております。企業の業況判断が改善し、投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大が期待されるなかで、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような環境の中、当社の属するオンラインエンターテインメント業界におきましては、平成28年におけるスマートフォン世帯保有率は71.8%に達し（出展：総務省「2017年版 情報通信白書」）、スマートフォンの普及と利用時間の増加に伴い、スマートフォンを起点としたオンラインサービスの消費は一層増加するとともに、サービス提供者における生成データの蓄積が進み、データ活用による新たな価値創造の可能性に期待されております。

当社におきましては、スマートフォンネイティブゲーム『ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい～』において、広告宣伝費を抑制しつつ新規ユーザー獲得及び休眠ユーザー復帰を見込めるプロモーション手法として、他社著作権とのコラボイベントを月一度のペースで実施してまいりました。また平成29年9月には、既存ユーザーの定着及びゲーム滞在時間延長を目的に、大型アップデートを実施し、新たなストーリーや機能を追加いたしました。しかしながらコラボイベント、大型アップデートにおいて当初の目的は達成されたものの、想定していたユーザー動向を作ることができず、売上高の増加に繋げることはできませんでした。

一方で、海外ゲームの日本輸入パブリッシングタイトルの第一弾として『ロード・オブ・ダンジョン』を平成29年11月28日にリリースいたしました。『ロード・オブ・ダンジョン』はこれまでの日本国内におけるロールプレイングゲームやシミュレーションゲームに無かった、ダンジョンを「経営する」という新しいゲーム性を持っており、リリース直後よりコアゲーマーから高評価され、好調にスタートいたしました。

また当社は、完全自社開発の新作ゲーム『三極ジャスティス』のリリースを平成30年初春に予定しております。『三極ジャスティス』は戦争と正義をテーマとしてドラマティックに演出したバトルゲームです。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高1,095百万円（前年同期比20.3%減）、営業損失53百万円（前年同期は100百万円の営業損失）、経常損失54百万円（前年同期は106百万円の経常損失）となりました。一方、当第2四半期において携帯電話の公式サイト関連サービスを売却したことによる事業譲渡益19百万円を特別利益に計上したため、四半期純損失は35百万円（前年同期は254百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べて32百万円減少し1,015百万円となりました。これは、現金及び預金92百万円、未収入金88百万円の減少等により、流動資産が194百万円減少したことと、ソフトウェア仮勘定177百万円の増加等により、固定資産が161百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて3百万円増加し431百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて36百万円減少し584百万円となりました。これは、利益剰余金35百万円が減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の業績は平成29年5月期において『ゴシックは魔法乙女』1タイトルが売上高の80%以上を占めており、『ゴシックは魔法乙女』の動向によって会社業績が大きく左右される状況となっております。この状況を改善するため、平成30年5月期において新規タイトルのリリースを予定しておりますが、リリース後の推移は予測することが難しく、これらの要因から、現時点においては信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難であります。

したがって平成30年5月期の業績予想につきましては、これらの当面の進捗状況を踏まえ、合理的な業績見通しの算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	368,551	276,012
売掛金	19,170	1,829
商品及び製品	5,496	3,884
貯蔵品	157	168
前払費用	17,664	21,892
未収入金	271,784	183,583
その他	893	2,310
貸倒引当金	△29	—
流動資産合計	683,689	489,681
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,737	56,737
減価償却累計額	△27,913	△29,956
建物(純額)	28,823	26,780
工具、器具及び備品	106,866	101,383
減価償却累計額	△94,677	△80,995
工具、器具及び備品(純額)	12,189	20,388
有形固定資産合計	41,012	47,169
無形固定資産		
商標権	1,705	1,393
ソフトウェア	14,723	11,720
ソフトウェア仮勘定	218,162	396,043
その他	630	630
無形固定資産合計	235,221	409,788
投資その他の資産		
関係会社株式	16,938	—
敷金	55,568	53,202
差入保証金	16,011	16,011
長期未収入金	29,499	29,499
貸倒引当金	△29,499	△29,499
投資その他の資産合計	88,518	69,213
固定資産合計	364,752	526,171
資産合計	1,048,442	1,015,852

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	204,998	219,000
リース債務	2,545	2,545
未払金	121,642	127,155
未払費用	35,878	33,959
未払法人税等	10,500	8,954
未払消費税等	15,127	5,869
前受金	25,354	22,773
預り金	4,946	5,460
流動負債合計	420,993	425,718
固定負債		
リース債務	7,356	6,083
固定負債合計	7,356	6,083
負債合計	428,349	431,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,206	1,290,206
資本剰余金		
資本準備金	1,233,844	1,233,844
資本剰余金	1,233,844	1,233,844
利益剰余金		
利益準備金	870	870
その他利益剰余金		
別途積立金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	△1,868,553	△1,903,994
利益剰余金	△1,857,683	△1,893,124
自己株式	△46,876	△46,876
株主資本合計	619,491	584,050
新株予約権	602	—
純資産合計	620,093	584,050
負債純資産合計	1,048,442	1,015,852

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,374,774	1,095,799
売上原価	430,559	392,053
売上総利益	944,215	703,745
販売費及び一般管理費		
回収費	415,285	326,028
広告宣伝費及び販売促進費	332,537	158,023
役員報酬	37,350	39,150
給料及び手当	76,602	65,083
研究開発費	37,097	17,114
地代家賃	17,892	15,063
支払手数料	12,119	10,272
その他	116,086	126,754
販売費及び一般管理費合計	1,044,970	757,490
営業損失(△)	△100,754	△53,744
営業外収益		
受取利息	1	3
受取手数料	16	—
前受金消却益	—	926
その他	11	0
営業外収益合計	28	929
営業外費用		
支払利息	2,087	1,586
新株予約権発行費	3,418	—
その他	688	28
営業外費用合計	6,195	1,614
経常損失(△)	△106,921	△54,429
特別利益		
事業譲渡益	—	19,655
新株予約権戻入益	—	602
特別利益合計	—	20,257
特別損失		
減損損失	146,367	—
固定資産売却損	127	—
固定資産除却損	12	123
特別損失合計	146,508	123
税引前四半期純損失(△)	△253,429	△34,296
法人税、住民税及び事業税	1,479	1,145
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	1,479	1,145
四半期純損失(△)	△254,909	△35,441

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△253,429	△34,296
減価償却費	44,012	9,992
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△184	△29
受取利息及び受取配当金	△1	△3
支払利息	2,087	1,586
新株予約権発行費	3,418	—
固定資産売却損益(△は益)	127	—
固定資産除却損	12	123
減損損失	146,367	—
事業譲渡損益(△は益)	—	△19,655
新株予約権戻入益	—	△602
売上債権の増減額(△は増加)	2,690	14,760
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,489	1,601
未収入金の増減額(△は増加)	7,098	88,200
未払金の増減額(△は減少)	6,689	4,896
未払費用の増減額(△は減少)	△3,634	△1,918
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,521	△9,257
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△512	△66
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,025	△3,254
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,845	513
小計	△100,160	52,592
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△2,217	△1,609
法人税等の支払額	△2,997	△2,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	△105,373	48,361
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,397	△12,342
無形固定資産の取得による支出	△83,069	△177,881
有形固定資産の売却による収入	472	—
敷金の差入による支出	△3,858	—
敷金の回収による収入	32	—
差入保証金の差入による支出	△10	—
差入保証金の回収による収入	21	—
関係会社の清算による収入	—	16,938
事業譲渡による収入	—	19,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,809	△153,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	57,334	14,002
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,158	△1,272
新株予約権の行使による株式の発行による収入	97,763	—
新株予約権の発行による収入	4,500	—
新株予約権の消却による支出	△1,470	—
新株予約権の発行による支出	△1,537	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	155,431	12,729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,752	△92,539
現金及び現金同等物の期首残高	342,950	368,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	305,197	276,012

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、平成29年12月5日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行について決議し、平成29年12月22日に払込手続が完了いたしました。

(1) 発行株式数及び種類

普通株式 112,100株

(2) 発行価額

1株につき 1,873円

(3) 発行価額の総額

209,963,300円

(4) 増加する資本金及び資本準備金の額

増加する資本金の額 104,981,650円

増加する資本準備金の額 104,981,650円

(5) 募集方法

第三者割当の方法による

(6) 割当先及び株式数

SAMURAI&J PARTNERS株式会社：112,100株

(7) 払込期日

平成29年12月22日

(8) 調達する資金の用途

- ・「ロード・オブ・ダンジョン」プロモーション費用
- ・海外タイトルの獲得費用